

ハグロソウ キツネノマゴ科 *Peristrophe japonica* (Thunb.) Brenk



花期は7～10月

武雄市朝日町繁昌ダム 湯の谷

山の林内、林縁などの日陰に生える多年草。茎は高さ20～50cm。葉は柄があり、葉身は細い楕円形で、先は細くなるが先端は鈍く、基部は楔形、長さ5～10cm、幅1～3cm、名はふつう暗緑色の葉の色から「葉黒草」とよばれる。花の下には長さ1～2cmの大きな苞葉がある。花冠は淡紅紫色で、筒部が細くて長く、先は急に広がって上下2唇にわかれ、下唇の方が大きく、おしべ2、めしべ1がある。果実は長さ1cmあまりで、苞葉の間にかくれ、中は2室にわかれて各室には2種子が入っている。熟せば裂けて種子をはじきとばす。

種子は径2.5mm、種枕（しゅちん）がある。

佐賀県植物目録（1981）ではキツネノマゴ科の仲間、オギノツメ（普通）、キツネノマゴ（ごく普通）、スズムシソウ（やや稀）、ハグロソウ（やや普通）の4種がある。

分布は本州（関東以西）、四国、九州。